

治験検体処理用に使用する遠心分離機に関する管理手順書

本手順書は治験検体処理用に使用される遠心分離機の適切な管理手順を明確にし、治験等のデータ品質を担保することを目的として定めたものである。

1. 対象機器及び設置場所

	MODEL	SER.No	メーカー	設置場所
1	5911	Q50790	KUBOTA	研究室（左）
2	4200	PZ0473	KUBOTA	検査室(卓上)
3	5500	L50178	KUBOTA	検査室(卓上)
4	6200	B30160	KUBOTA	検査室

2. 冷却機能・使用ローター・最大回転数

	MODEL	冷却機能	ローター（最大回転数） スイング アングル	
1	5911	有	ST-480M 3500rpm(2270g)	RA-410M2 8500rpm (9530g：回転半径 11.8cm) (9690g：回転半径 12cm) RA-288M 5000rpm (2930g：回転半径 10.5cm) (3350g：回転半径 12cm)
2	4200	無	ST-722M 3500rpm(2330g)	使用不可 (使用できるローターなし)
3	5500	有	ST-722M 3500rpm(2330g)	使用不可 (使用できるローターなし)
4	6200	有	SF-2504S 4800rpm 6本のバケット (5～10ml：4150g) 4本のバケット (15ml コニカル管:4280g) 1本のバケット (50ml コニカル管:4250g)	AF-5004CH 15000rpm (22140g：50ml コニカル管) (21130g：15ml コニカル管)

3. 定期点検

年1回メーカーによる保守点検を実施し、メーカー発行の「遠心機点検報告書」に記載された結果を確認し指摘事項があった場合は是正処置を検討する。指摘事

項への対応内容を含め正しく機能していることを確認し「遠心機保守点検結果」に記録する。

1 版 作成 2024.8.21

2 版 作成 2025.2.28